

【APRC 第3戦(ラリーin張掖) 参戦結果】

チーム;IMMENS MOTORSPORT

高山仁

◆開催概要

開催日:8月5日~8月7日

開催場所:中国 甘肅州 張掖市(ジャンイエ市)周辺

路面 :未舗装路。(モンゴル近くの砂漠のステージを走ります。)

天気 :終日ドライ

クラス :アジアカップ選手権

結果 :**2位 (5台中)** ※総合では、9台中5位



ライバルの脱落にも助けられ、クラス2位でフィニッシュする事ができました。

<https://www.youtube.com/watch?v=hi2QpRLUP5g>

↑ オーガナイザーの公式ムービー。2分過ぎあたりに登場します。

ーラリー概要ー

本年のチャイナラリーは、去年の龍遊から場所が代わり、

新たに張掖での開催に変更となりました。

ラリーのステージは、建設中の現代版シルクロードのすぐ隣の砂漠。

湿度は低いものの、気温は38℃、標高は1800mと、人にもマシンにも厳しい環境です。

また平均時速は100km/hを簡単に超える、超高速な設定のラリーとなっております。

高山としては初めて経験するタイプのラリーであったため、

とにかく熱中症にならないこと。堅実に走り切ること。車を労わること。冷静になること。

を、心がけてラリーに臨みました。

いよいよラリー開始です。

さすがに全く経験したことのない道にかなり戸惑ってしまいなかなかペースが掴めず、

かつSS2では痛恨のマシントラブルが発生してしまい、大量にタイムロス。

ほぼ最下位からのスタートとなりました。

APRC のトップ連中とはマシンの性能差が大きい為、高山が気にしていたのは、同じクラスに相当する、中国国内選手権の N4 クラスのタイムです。

SS1: N4 クラストップタイムから キロ 3.7 秒差(6 番手タイム)

SS2: N4 クラストップタイムから キロ 68.9 秒差(マシントラブルの為)

2 日目に入り、いよいよ超高速の砂漠ステージです。

さすがにオープニングステージの SS3 は戸惑ったものの、その次の SS からは徐々に、感覚を掴んで行きました。

SS3: トップタイムから キロ 4.1 秒差(7 番手タイム)

SS4: トップタイムから キロ 2.3 秒差(7 番手タイム)

少しずつ感覚を掴んできたところで、今度は SS3、SS4 と同じ 道を、もう一度ループします。ここで少しアタックをしようとしたのですが、途中で APRC の 2 位を走るドイツ人、ファビアンのリタイヤをコース内で目撃。自身が 2 位になったことを理解し、やはり、完走ペースに切り替えました。

SS5: トップタイムから キロ 1.6 秒差(5 番手タイム)

SS6: トップタイムから キロ 1.4 秒差(7 番手タイム)

いよいよ最終日です。

何よりも完走が大事ということから、アンチラグをオフにし、とにかくマシンを労わる走りを心がけてスタートしました。

SS7: トップタイムから キロ 1.6 秒差(7 番手タイム)

SS8: トップタイムから キロ 1.4 秒差(6 番手タイム)

いよいよゴール寸前の SS9 の前サービスで、松田より喝が飛びました。

「何をしに来ているんだ。みんなタイムも見ているし、しっかりタイムを残してくるように！」との喝でした。

すぐさま頭を切替え、絶対完走させることはもちろんですが、アンチラグは ON。マージンも少し削って、よりノートを信頼する走りに切り替えました。

SS9: トップタイムから キロ **0.1 秒差(2 番手タイム)**。(トップタイムには 5 秒及ばず・・・)

最終的には N4 クラストップと同等のタイムを出すことはできましたが、まだまだ、走り・ノート・体力、等々には課題があると痛感しました。次対決する時は、最初から N クラストップタイムで上がれるよう、しっかりと準備していきます。

そして、なんとか無事に APRC 2 位でラリーを終えることができました。

◆ラリー中の写真



移動は中国の新幹線を使用。途中、まるでスイスのような景色に。羊がいて、山の上には雪が残っているところもあり、感動しました。



ヘッドクォーターホテルの中。日本国旗も掲揚されており、誇らしく思いました。

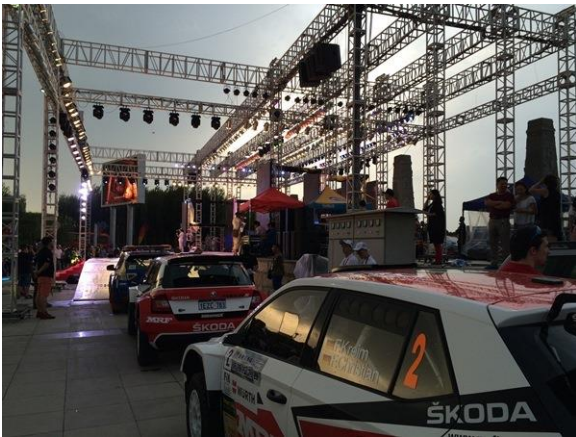


我々が宿泊したホテル。写真の赤い電光掲示板に「熱烈歓迎！IM MENS MOTORSPORT！」と、うちのチーム名を掲示してくれました。



左側には、日本のアニメ、クレヨンしんちゃんTシャツを来た少年が。みんな親切でした。
中国では、かなりの人に日本のアニメ

セレモニアルスタート。



高山が経験した中で一番豪華で派手で、観客が多かったです。
中国のラリー人気の凄さを感じました。



ステージの様子です。本当に初めて経験する種類の道でした。
コースに目印が無く、さらなるペースノートの修練が必要だと感じました。



◆最後に

昨年もマレーシア・中国と海外のラリーを経験しておりましたが、今回、張掖のラリーに出たことで受けたカルチャーショックは、非常に大きいものでした。

移動で使用した中国の新幹線は、日本のレベルに近く、自動車に関しても、街中では、知らない中国メーカーの、しかしパッと見て先進国の自動車メーカーのクオリティと差のないような車が走っており。ラリーに関しても、積極的に海外のマシン・ドライバーを呼んで、その技術を盗み？自国の財産となるようにしている。それでいて街の人は凄く親切で、思いやりがあった。

そんな中国の姿勢があまりにも良く見えてしまったので、このままで日本は大丈夫かと、今更ですが危機感を感じました。

やはり海外のラリーに出ると、自分が日本人であることを強く感じ、日本のメーカー / ドライバー / 文化の良さを伝えたくなりすし、これからのラリーに関しても、自分はそうやって関わっていきたい と思いました。

今年の残るラリーは、北海道帯広(9月末)、マレーシア(10月末)、インド(12月頭)の予定。今年もアジア2連覇を達成できるよう、全力で取り組みます。そして、是非またどこかでお会いすることを、楽しみにしています。

最後まで読んで頂き、また応援をして頂き、大変ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします！！



高山 仁

ニュークリア株式会社

〒370-1201

群馬県高崎市倉賀野町 3511-2

TEL: 027-386-9533

FAX: 027-386-9534

URL: <http://www.nuke.co.jp/>

IMMENS MOTORSPORT の FACEBOOK ファンページ

<https://www.facebook.com/IMMENS->

[MOTORSPORT-515011095211961/](https://www.facebook.com/IMMENS-MOTORSPORT-515011095211961/)